

## 平成 26 年度行財政改革プランの取組方針及び実施スケジュールについて

## ○ 25 年度取組に対する成果と課題（別添「平成 24 年度行財政改革プラン取組状況報告書（抜粋）」参照）

## ■ 数値目標について

- ・ 経常収支比率が 85%（27 年度目標）に対し、89.5%（24 年度実績）となっている。（健全化判断比率はすべてクリアしている）
- ・ 行政体制に関する指標（普通会計部門等の定員）が目標を大きく下回っている。（当初計画を上回る減員を実施しているものの、計画時には想定していなかった新たな行政需要に伴う増員があるため）
- ・ 全 158 取組項目のうち、27.2%が D・E 評価となっており、基本方針別では基本方針 3 においてその割合が高い。
- ・ 経済的効果に関する指標（目標 70 億円）に対し、今後の状況次第では、達成が厳しくなる恐れがある。

## ■ 書類評価（内部評価・外部評価）について

- ・ 内部評価の記載方法の改善や達成度判断基準の明確化により、初年度に比べ混乱も少なく外部評価に臨むことができた。
- ・ 外部評価において、「妥当」・「要検討」の基準の明確化や評価件数の適正化により、初年度よりも効率的・効果的に実施することができた。
- ・ 一部の取組において、取組名と内容の関係が分かりづらいことから外部評価しづらいものがあった。

## ■ 公開プレゼンテーションについて

- ・ 市内 3 大学と連携した学生参加の取組などにより、参加者全体に占める若年層と女性の割合初年度よりも高まり、幅広い年齢層に対して、プレゼンテーションができた。
- ・ 会場レイアウトの改善や質問の時間の設定などに取り組んだ結果、質疑等の充実度、配付資料の分かりやすさ、行財政改革の取組に対する理解度のそれぞれにおいて、初年度より高い評価となった。
- ・ 外部検証委員会の意見を各課がより効果的に活用するようフォローアップを実施した（資料 2）。
- ・ アンケートにおいて、「成果発表会」（取組に対する疑問を答えることが果たして改革となるのだろうか。）と言った公開プレゼンテーションを実施したことに対する更なる成果を求める声があった。

## 【平成 26 年度に向けた課題のまとめ】

- 経済的効果目標額 70 億円をはじめ指標の目標達成に向け、今一度達成阻害要因を分析し、取組手法を見直すとともに、計画達成スケジュールの再構築を図る必要がある。（各指標における目標値の見直しは行わない）
- 公開プレゼンテーションについて外部検証委員会の意見をこれまで以上にプランの推進（目標達成）に活用できるようにする必要がある。
- 書類評価された取組の外部検証委員会の意見に対する各部局への反映強化を図る必要がある。

○課題解決に向けた26年度実施方法

分類	改善の方向性
<p>数値目標等の達成</p>	<p><b>【事務局】</b>            人事課・財政課との目標達成に向けた連携強化及び各部局への取組に対する強化を図るほか、項目の追加を行う。</p> <p><b>【外部評価】</b>            内部評価（D以下）は基本方針3（財政運営の自律性・健全性の確保）に多く見受けられ、また同方針は数値目標（経済的効果額）に影響することから、同方針を中心とした外部評価を実施することにより、各部局が目標の達成に向け委員会の評価・意見を取組に反映する仕組みを検討・実施する。</p>
<p>書類評価            （取組名称の適正化）</p>	<p>26年度版豊橋市行財政改革プランにおいて取組名と内容が明確となるよう適正化を図り、外部評価しやすい環境を整える。</p> <p><b>【考え方】</b>            1つの取組の中に複数の項目がある場合、最も貢献している項目を取組名とする。</p>
<p>公開プレゼンテーション            （外部視点の反映強化）</p>	<p>目標達成に向け外部検証委員会の意見をこれまで以上にプランの推進に活用できる方法に変更する。</p> <p><b>【案】</b>            市が積極的に推進しようとするテーマを取り上げ、深堀の視点で公開の場において臨場感のある議論や政策推進のための結論（方向性）を得る。            （詳細は次ページ参照）</p>

## ○公開プレゼンテーションについて

### 【目的】

市が積極的に推進しようとするテーマを取り上げ、深堀の視点で公開の場において臨場感のある議論や政策推進のための結論（方向性）を得る。

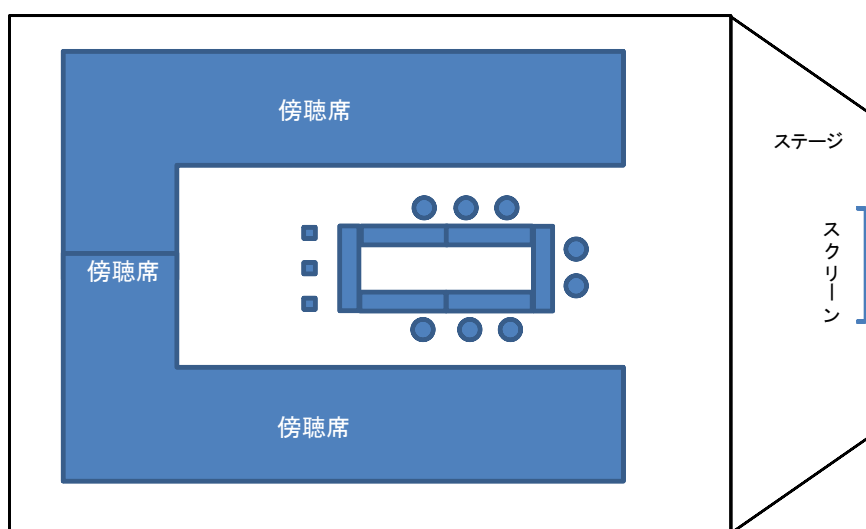
### 【変更点】

項目	25年度	26年度（案）
選出方法	部局別行動計画（取組項目）から選出	部局別行動計画に基づき、本市が積極的に推進を図る必要がある取組や事項から選出
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の関心が高いもの</li> <li>・市民にPRすべきもの</li> <li>・議論の展開が期待できるもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の関心が高いもの</li> <li>・市民にPRすべきもの</li> <li>・議論の展開が期待できるもの</li> <li>・進捗に遅れが見られるもの</li> </ul>
1テーマ審議時間	50分	80分
テーマ数	10テーマ	3～5テーマ
体制	2班（2会場）	1班（1会場：講堂）

### 【審議の進め方の変更点】

内容	25年度	26年度（案）
所管課による説明	10分	20分
委員と所管課による質疑応答	20分	40分
市民・学生からの質疑・意見発表	15分	15分
代表委員によるまとめ	5分	5分

### 【会場イメージ図】



○平成26年度実施スケジュール

太字：委員にお願いするもの

( )：昨年度の実施日

時 期	項 目	内 容
3月上旬	25年度内部評価作業開始	各部局による評価シート記載
4月7日(月)頃 (4月8日(月))	★第1回外部検証委員会	26年度運営方法等の説明 評価シートを委員に配布
4月中・下旬	プレゼンテーションテーマ案の 選定	選定基準に従い、事務局案を作成
～ 5月上旬	書類評価→委員間調整	評価シートの外部評価欄記載
5月8日(木)頃 (5月9日(木))	★第2回外部検証委員会	委員間の意見調整 書類評価内容の決定 公開プレゼンテーションテーマ(案)概要説明
5月30日(金)頃 (5月31日(金))	★第3回外部検証委員会	プレゼンテーションテーマ決定及び勉強会
6月上旬	行政改革推進本部	外部評価結果・プレゼンテーション対象 選定結果の報告
6月中旬	プレゼンテーション資料作成→ 委員送付	パワーポイント資料等作成(担当部局) 上記資料を各委員あてに送付
～ 7月上旬	プレゼンテーション資料読み込 み	各委員による資料読み込み ※内容に疑義などあれば事務局へ
7月12日(土) (7月6日(土))	★第4回外部検証委員会 (公開プレゼンテーション)	公開プレゼンテーションを実施
7月中旬～	平成25年度取組状況報告書案 作成	事務局による報告書案作成後、各委員に も案を送付
8月19日(火)頃	行政改革推進本部	報告書内容決定
9月上旬	平成25年度取組状況の公表	報告書を議員に送付 〃 をホームページに掲載 広報紙でお知らせ(10/15号)
～ 10月末	年度後半取組への反映 新年度予算への反映	(各部局) 外部評価結果を踏まえた取組の改善 新年度予算への計上
12月中旬	★第5回外部検証委員会	26年度運営の課題抽出 27年度運営の改善方向性を検討